

第6回 理事会議事録（平成29年度）

日時：平成30年1月27日（土）

13：30～16：30

場所：鹿児島県看護研修会館1階会議室

I 議事に加わることができる理事

17名

II 出席理事及び定足数の確認

出席者 17名

会長 田畑千穂子

副会長 下仮屋道子

副会長 中重敬子

専務理事 原田ケイ子

常任理事 内司啓子

職能理事 西原洋子、園田良子、小玉博子、宇治野由美子

地区理事 山本むつみ、中村昭子、谷川智子、本蔵信子、鮫島明子、
伊比禮真理子、榎愛香

准看護師理事 中島久美子

III 監事

出席 2名

財部マチ子

古川康郎

IV 会長挨拶

平成30年度は7つの事業を進める。また、診療報酬改定に関しては2月上旬には中身が分かる。情報共有を図りながら県協会として業務を推進する。

定款第40条に基づき、議決に加わることができる理事17名全員の出席で、本会は有効に成立したことの確認の後、議案の審議に入った。

V 協議事項

1 基本方針に関する事項

1) 平成29年度鹿児島県看護協会事業検討会を踏まえての今後の取組について

専務理事は、次のように説明した。

12月16日に平成29年度事業の中間評価と次年度計画の協議・検討を行った。5協議事項（主な意見等）の（1）平成29年度中に取り組む事業及び調整・検討事項についてのとおり、概ね計画どおりに事業が進んでいる。また、今年度は看護職ネットワーク事業で、当協会のホームページに会員専用ページを設けた。（2）の平成30年度職能・常任・特別委員会・地区活動推進については、提出された意見を①から⑩まで記載した。主なものとしては、保健師・助産師・看護師の合

同研修会は、診療報酬等を加味した地域包括ケアシステムとする。災害看護については、4職能と災害検討委員会は、合同の研修を行う方向となっている。③の看護師職能Ⅱ企画の情報通信機器(ICT)を用いた死亡診断書の取り扱いについてのアンケート調査は、まだ時期尚早としてまずは情報発信に努める。

なお、地区会議の中で、地区ケア会議とか地区会議の名称が整理されていない状況にあるが、地区で研修会を開催する場合は料金が発生することもあり、他職種を含めた場合などは、会議の中に研修を含めて行う。

また、市町村レベルの介護保険総合事業等で、地区ケア会議など似たような名称の会議があるが、看護協会としては地域包括ケア体制構築に向けた取り組みについては主体的に進めるが、他団体からの声かけに対して、賛同できるものについては積極的に地区で参加し、地区会議に包含する。

ケア会議は、個々の課題等を検討するもので個別対応となる。

このことについては、出席理事全員から承認を得た。

2) 平成30年度事業について

会長は、次のように説明した。

重点事項としては、1. 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築、2. 看護職の確保・定着と働きやすい環境づくりの推進、3. 看護の質向上及び看護職の役割拡大の推進、4. 組織強化に向けた会員サービスの強化である。事業検討会以後の新たな要素としては、2の2) 看護職の勤務環境改善事業の推進の看護職の賃金モデル導入の推進に関しては、研修会を開催したところであり当協会も推進する。また、3の1) 専任教員養成講習会の開催については、予算編成を進めている。

賃金モデル導入については、1日半の研修受講で導入出来るかどうかの意見が出されたが、具体的には日本看護協会のガイドラインが示されてからであり、当面は普及啓発となるが、全国では導入した事例もあり、県内でも導入の動きがある。

このことについては、出席理事全員から承認を得た。

2 事業推進に関する事項

1) 平成30年度通常総会時における4職能集会について

専務理事は、次のように説明した。

5月26日の4職能の合同集会では、テーマを「地域包括ケアシステムの構築に向けた看護職の役割」ということで講師の了解を得ている。今後、職能委員でリーダーを決め、4職能協力して受付やアンケート内容等を決める。

このことについては、出席理事全員から承認を得た。

2) 看護職ネットワーク強化事業について

専務理事は、次のように説明した。

11月の理事会開催以降、各施設を訪問した状況であり、未報告の地区は、2月下旬までには訪問して報告する。

県協会のホームページの会員専用ページの周知・啓発や、他県では若者にも分かりやすいものに

と3年計画で目標を持って取り組んでいるところもあり、当協会も活動の理解等を進める。
このことについては、出席理事全員から承認を得た。

3 管理的事項

1) 鹿児島県看護協会災害対応マニュアルの改正について

専務理事は、次のように説明した。

災害対応マニュアル（平成23年3月改定）の改正案である。今回は目次を設けた。

各理事の意見は1月31日までとし、その後、業務執行理事で協議・検討する。

2月3日の各施設代表者会議には示す。

このことについては、出席理事全員から承認を得た。

2) 平成30年度改選役員・推薦委員並びに平成31年度代議員及び予備代議員の推薦状況

専務理事は、平成30年度の役員・職能委員・推薦候補者と平成31年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員候補者の推薦状況を示した。

このことについては、出席理事全員から承認を得た。

3) 職員の任免について

会長は、次のように説明した。

平成30年2月1日に事務職員1名、訪問看護師1名を採用したい。事務職員が2月末で1名退職予定であり、また、訪問看護ステーションの訪問看護師1名が、昨年12月末に退職していることからその職員の補充を図るものである。

このことについては、出席理事全員から承認を得た。

4) 会館の補修計画について

会長の指示により、事務局長は次のように説明した。

当研修会館の3階の洗面台が小さい為、受講生に混雑で大変不便をかけているので、複数名で使用できる大きな洗面台に変えたい。

また、空調機2号機のポンプ2台のうち1台が故障して、残りの1台に負担がかかり、いつ故障するか分からない状況であるので至急ポンプを交換修理したい。

なお、現在の空調機は空気熱源ヒートポンプチラーで、修理費が嵩むことから、今後、パッケージエアコンに順次変えていくこととし、建物の建て替え時期等を踏まえながら補修計画等ができたなら理事の皆さんにご提案したい。

お知らせとして、今年度の女子トイレの洋式化等の工事については、2月19日から予備日も含め3月10日まで行う。工事中は、1階又は2階のトイレのどちらかが使用できるように行うので協力をお願いした。

このことについては、出席理事全員から承認を得た。

4 会員支援

- 1) 平成30年度鹿児島県看護協会名誉会員候補者について
専務理事は、当協会の名誉会員要件等の説明後、平成30年度の候補者を選出した。
このことについては、出席理事全員から承認を得た。
- 2) 平成30年度鹿児島県看護協会会長表彰者の推薦について
専務理事は、当協会の会長表彰者要件等の説明後、平成30年度の候補者の選出を依頼した。
このことについては、出席理事全員から承認を得た。
- 3) 平成30年度鹿児島県看護業務功労者知事表彰候補者の推薦について
専務理事は、5月の看護の日の表彰者として、推薦する候補者を選出した。
このことについては、出席理事全員から承認を得た。

VI 報告事項

1 基本方針に関する事項

- 1) 曾於保健医療圏及び肝付保健医療構想調整会議（合同会議）について

2 事業推進に関する事項

- 1) 教育事業について
- 2) 看護職員就業相談事業について
- 3) 訪問看護理解連携・促進事業評価検討会
- 4) 訪問看護事業者実態調査中間報告
- 5) 桜島火山爆発総合防災訓練
- 6) 第50回（平成31年度）日本看護学会集會開催準備について
- 7) 鹿児島県看護協会会員施設代表者会議について
- 8) 看護職の有識ボランティアの募集について

3 管理的事項

- 1) 理事会・運営委員会議事録について

4 会員支援関係


- 1) 平成29年度鹿児島県看護協会会員数及び平成30年度会員継続申し込み状況について


VII その他（一部当日配布）

- (1) 日本看護協会理事会報告（別冊：口頭報告）
- (2) 職能委員会報告（口頭報告）
- (3) 地区報告（口頭報告）
- (4) 委員会報告（書面報告）
- (5) 地区長情報交換報告（口頭報告）
- (6) 他団体会議報告（書面及び一部口頭報告）
- (7) 出張報告（県外）（書面報告・当日回覧）

以上をもって議案の審議等を終了したので16時30分、議長は閉会を宣言した。
この議事録が正確であることを証するため、出席した会長及び監事が署名押印する。

平成30年1月27日

会長 田畑千穂子 

監事 財部マチ子 

監事 古川康郎 